

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 4年次生 上野彩花

1.はじめに

この度、国際交流基金の助成を受けて2025年2月9日から3月23日の間カナダのトロントに留学しました。現地では、ホームステイをしてホストファミリーと共に生活しながら語学学校に通い、英語力の向上と共にカルチャーを学ぶことを主な目的としました。

2.語学学校について

今回、Upper Madison College という語学学校にお世話になりました。ここではレベル別のクラスごとに分けられており、自分のレベルに合った授業を受けることができました。1クラスの人数は約12人で、留学生が集まっていました。学校全体では、韓国人と日本人が圧倒的でした。特に韓国人の生徒は1年近く滞在する子が多く、日本との違いを痛感しました。

1コマ90分の授業で、午前中はライティングとリーディングの授業、午後はスピーキングの授業でした。リーディングの授業では、教科書を読んだ読解でした。ライティングでは、リーディングの時間に読んだ文章を踏まえて自分で同じ題名で書いてみるというものでした。スピーキングでは、週1回トピックが決められて、それについてのプレゼンテーションを行いました。そのテーマは様々で、授業を通じて他の国の生徒たちと話すことができ、多くのことを学ぶことができました。国が違えば考え方や人柄も変わってくるし、そこに触れたことで自分の視野が広まったと感じます。また、語学学校の友達によって、韓国、ブラジル、フィリピンなどの様々な文化に触れる事が出来、英語力も向上したと思います。

3.ホームステイについて

私のホームステイ先の方はフィリピン人で父親と母親のみでした。朝はパンかシリアルかを自分で選び、食べるスタイルでした。また、フルーツを切って置いておいてくれるので、それを選んで食べていました。昼はお弁当を作ってもらい、それを持って行っていました。サンドイッチの日もあれば、前日の残り物の日もありました。晩ご飯では白ごはんが出てくる時もありました。

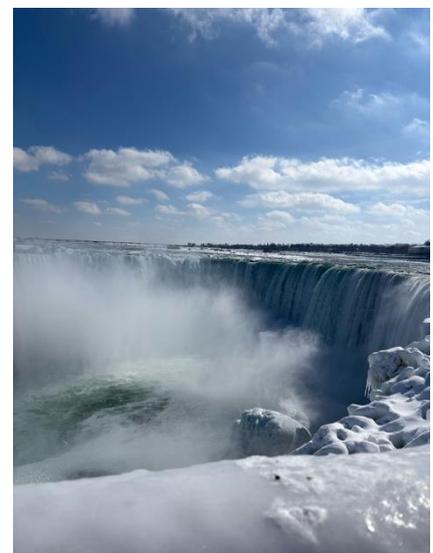
お母さんはとても料理上手で、お父さんはテレビを見ているのをよく見かけました。晩ご飯の時間は大体6時半から7時頃でした。ホームステイ先には、私の他に2人の韓国人留学生がいました。時間が合えばみんなで晩ご飯を食べますが、ほとんどの時は時間が合わず、別々で食べていました。タイミングが合った時は、その日の学校のことや、週末の予定などを話していました。私の部屋は地下にあり、地上の部分にリビングやキッチンなどがありました。お風呂は15分以内で済ませること、11時以降はキッチンを使わないこと、11時以降物音を立てないようになど、いくつかのルールがありました。



ホームステイ先での食事

4.観光

土日の休みを使って、ナイアガラの滝やセントローレンス・マーケット、イートンセンターなどを訪れました。レストランでの食事の量は、思っていたよりも多くなく、日本の量とそこまでの大差はありませんでした。ただ、物価は日本より全体的に高い印象でした。また、カナダではホームレスの人々が多く、駅や道端、電車内でも見かけました。レストランやお店では、様々なカナダの文化に触れることができ、有意義な時間を過ごしました。



ナイアガラの滝

5.終わりに

私は、実際に海外で約1ヶ月間生活するのは初めてで、不安もたくさんありましたが、素敵な人たちと出会うことができました。他の国の子たちがスラスラと英語が話しているのを見て、自分の英語力のなさを痛感しました。もっと英語が話せるようになりたいと感じることが多くありました。短い期間でしたが、忘れられない最高の経験となりました。このような貴重な機会を与えていただきありがとうございました。